

な き ご え



1985

12

大 阪 市
天王寺動物園協会

赤田 光治

開園を前にした
ゾウの引っ越し



私は明治43年の生まれで、天王寺動物園の前身ともいえる府立大阪博物館附属動物檻については記憶は定かではありません。この動物檻は大正3年に廃止になり、大阪市へと移管されたのですが、私は生家がこの博物館のすぐ横の豊後町にあり、よくこの博物館には遊びに行ったものです。動物檻はあまり立派な施設ではなかったことは覚えています。

ところで私の父、赤田徳太郎は建築業を営んでおりましたが、場所も近いことから大阪博物館の陳列の飾付や種々の雑用も請けおっていました。父に連れられて当時4才の私も博物館にはよく出入りしましたが、その関係で動物檻主任の林佐市さん（後の天王寺動物園長）やゾウの担当だった松井さんにもかわいがってもらったものです。この当時の動物檻には団平（オス）、常盤（メス）の2頭のゾウがいましたが、大変大きなゾウだったことを覚えています。

大正3年6月、大阪府が博物館の動物檻の廃止を決めたのに伴い、動物はすべて大阪市に譲られることになりました。その数は181点の動物でしたが、小鳥や水鳥もいれば、トラやライオン、クマもあり、さらにゾウもということで、この引っ越しは大変だったようです。この引っ越しを請けおったのが父で、当時、父の店には常時50人位の雇人がおりましたが、

この引っ越しには30人ほどの人夫を指揮して運んだそうです。父は当時52才で、仕事も油ののった時でした。大八車や馬のひく四輪車でゾウ以外の動物は運びました。博物館のあった内本町橋詰町には今、大阪コクサイホテルが建っていますが、ここから天王寺公園までは松屋町筋を南下すればよいわけで、距離にして3.3km、大人の足なら1時間位でしょうか。

さて、ゾウ以外の動物の運搬はつつがなく終了しましたが、ゾウだけはそれを乗せるような車もなく、歩かせて運ぶことになりました。運送責任者の父と林主任との間で何度も相談が重ねられ、10月15日の深夜、運ぶことが決まりました。動物園に運ばれるゾウはオスの団平で、体重800貫（3トン）はあったのでしょうか。博物館で飼育される前はサーカスにいたということでしたが、もしこの巨象が町なかで暴れてもしたらと考えると、父も心配でたまらなかったことでしょう。

5日前から団平は絶食させられ、当日の深夜12時、世間にまったく公表せず極秘裏にゾウの行進が始まりました。といっても、団平は長年住みなれたゾウ小屋から出るのをいやがるため、後足にロープをかけて30人の人夫で引っばりました。人間とゾウの力比べはなかなか勝負がつかず、とうとう根負けした林主任がサーカス時代を思い出させようと「木やり音頭」を囃してみました。これは効果があったようで、あれほどいやがっていた団平がゆっくりと歩き始めたそうです。その時、皆が囃しながら手に持った日の丸扇というのが、実は何を隠そう、父の店にあった棟上げ式で使用する扇でした。

一旦動き出すと後はそう手こずりませんでした。当時の松屋町筋は幅5.4mと狭く軒先につるした石油ランプが団平の鼻で15個は壊されたでしょうか。とにかく10時間ほどもかかって動物園にゾウを収容できましたが、作業を終えて家に戻って来た父の青白く疲れた顔は、幼な心にもはっきりと脳裏に焼きついております。70年前の開園前のできごとでした。

(70年来の動物園ファン)

写真の説明：ゾウの団平とそれを見守る入園者（大正時代）

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

なぎごえ12月号もくじ

動物と私 2
“夜行性動物舎のニューフェイス” 3
動物園グラフ・日記 4-5
70周年記念作文コンクール優秀作品 6-7
駆けまわりヨーロッパ動物園日記 8-9
キーバズ・アイ 10
動物園ニュース 11

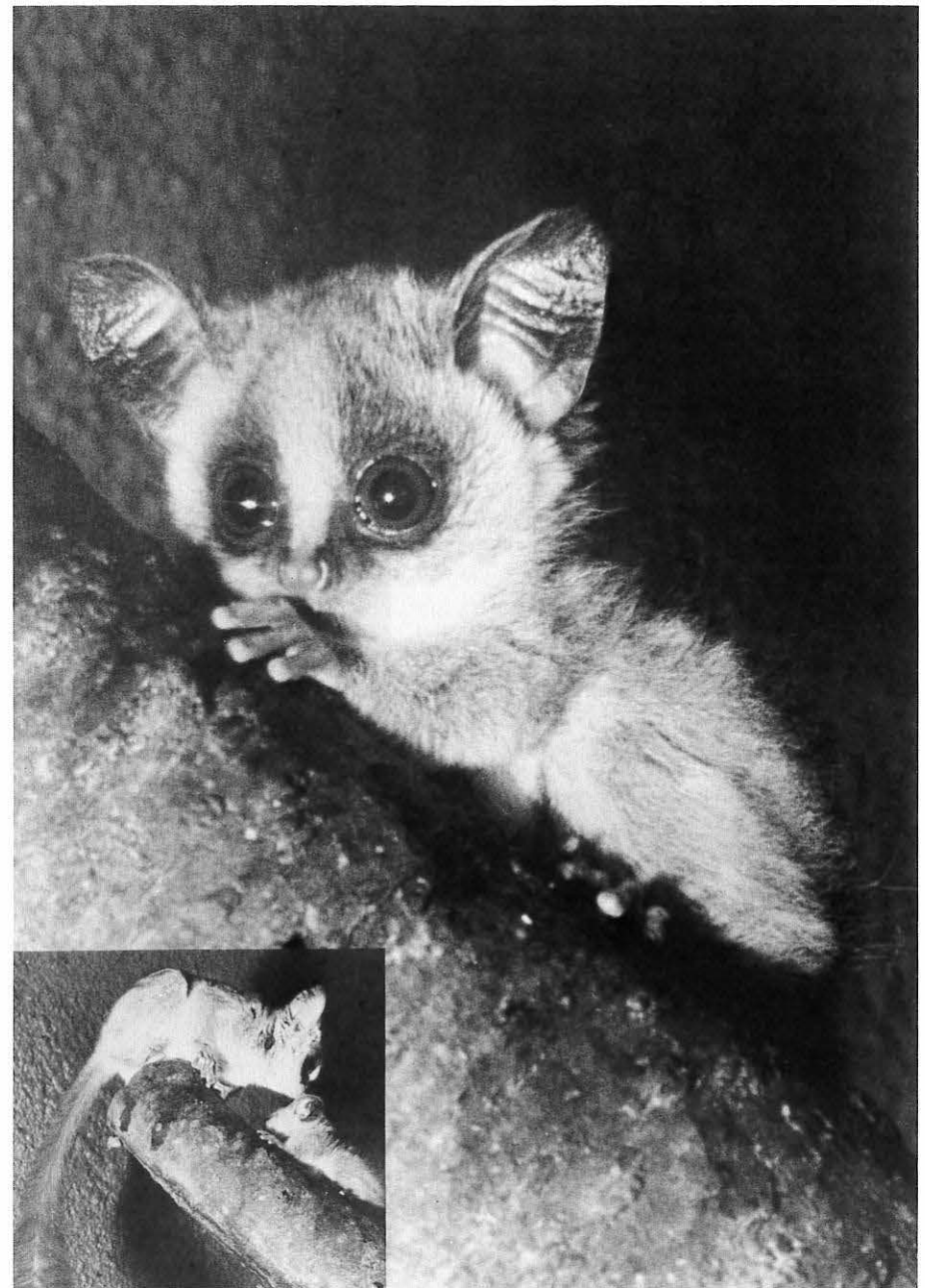
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

表紙の写真説明

“プケコ” (*Porphyrio melanotus*)

本年11月6日、当園の開園70周年を記念して、ニュージーランドから入園しました。体の大きさはニワトリのチャボ位ですが、ツルの仲間です。オウムのように足でものを持つこともできます。

(撮影：長瀬 健二郎)



* “夜行性動物舎のニューフェイス” *
* ショウガラゴの赤ちゃん1頭が、10月26日生まれました。 *
* それ以来、母親が赤ちゃんを口にくわえて巣の外に時おり *
* 出てきましたが、この頃は自分で巣から出てくるようにも *
* なりました。 (撮影：森本 委利) *
* (写真：生後23日目。左下の写真は左が母親、右が赤ちゃん) *

開園70周年記念作文コンクール優秀作品

開園70周年を記念して市内の小学校児童から作文を募集しましたが、応募総数は139点もありました。その中から優秀作品をご紹介します。

● 大阪市長賞

私ならこんな動物園をつくってみたい

大阪市立桃谷小学校 6年い組

中西 朋子

今の動物園は、みんなに見せるために、動物を飼っているが、動物たちが住みやすいような、動物園にしたいと思います。

私は、前に小豆島のモンキーセンターにいったが、ここには、サルしかいないが、草や木があり、自然のところで、自由にしていました。数も、ものすごい数でした。そして、サルたちも、とても楽しそうにしていました。

でも、とらやライオンなどの猛獣は、性質があらあらしいので、サルみたいには、いかなないので、やっぱり、きちんと、さくをつくらないと、にげ出すとたいへんです。

それから、サルにも、一種類だけではないので、種類は、たくさん、いた方がいいです。

動物にも、非常にたくさん種類があります。動物の種類がちがえば、やっぱり、その動物のくらしも、変わってくると思います。だから、その動物にあつたくらしを研究して、なかまが、どんどん、増えるようにしてやるのが、大切だと思います。

キリンだったら、木をたくさん、植えて、葉を食べてほしいです。キリンは、アカシアの葉がすきだそうです。だから、そういう、えさも、たくさん、成長のために、取り入れるようにしたいです。

そして、風景がよくて、木や草など、青々としていて、大きな、池をつくり、動物たちが大自然の中でのと同じように、動物たちのことを考えて、つくってやることだと思います。

それから、動物たちの世話もきちんと、住みやすいように、きれいにしたいです。

動物園は、子供たちが、楽しんで見たり、写生をしたりするところなので、危険がないことです。

そして、多くの人に見てもらうために、変わった動物や、ユニークな動物をかいたいと思います。

21世紀の動物園は、土地の立体地を考え、人間と

動物が、共に生活できる、動物園作りを考えて、みてはどうかとも考えます。

例えば、人間に害をあたえない動物は、2階以上のビルの中へ、人間に害を与える動物は、なるべく地上に、そして、ビルの中には、自然と同じように太陽光線がとり入れられ、木や草が植えられ、エレベーターやエスカレーターで見に回れる。人間も、その上の方で生活する。あまった土地は、遊園地や自然林、まき場にする。昼間は、その草原で、動物が自由に遊べ、夜は、ビルに帰っていく。人間がビルで、生活しているのだから、できそうに、思えます。

こんな動物園をつくってみたいです。

● 大阪市公園局長賞

楽しみのある動物園

大阪市立鳴野小学校 6年5組

阪本 晶

今の動物園もいいけれど、もっと楽しみのあるような動物園が頭にうかびました。

頭にうかんだ動物園とは、今までのように、おりの中に入れてある動物を見るのではなくて、動物園に入ると、動物といっしょに遊んだり、動物の体に乗ったりすることです。そうすれば、楽しみが増えると思います。

今までの動物園だと、見るだけです。見るのもいいけれど、動物ともっと親しくなれるようにと考えました。でも、それでは、

(ちょっとあぶないなあ。)

と思えるので、エサをやったり、きけんのない動物と遊べば楽しいだろうと思いました。馬だと、乗馬のようにして子どもが乗ったりできます。じっさい、やっている所もあります。それと、動物にはない物ですが、魚のつかみどりや、釣りなど魚に関係のある物です。こうすれば、いろいろ楽しんでよいと思うのです。どうしてこんなことを言うのかと言うと旅行に行った時、人間牧場と言って羊やロバ、魚、牛がそこらじゅうにいてさわったり出来るようにしてあります。さわったり、なき声を聞いたりするのは、初めてのころは何だかさわるとおそいかかってきそうで

(こわいなあ。本当にだいじょうぶかな？)

とっていました。でもだんだん覚えてきて一つも

こわくなりませんでした。それからは

(動物と遊んでいると楽しいなあ。)

と思えてくるようになりました。こんな動物園を作るとだれでも来る楽しい動物園になると思います。そんなのがあるといいなあ、と思いました。それ以外にもめずらしい、他の人があまり知らないような動物を知ってもらうためにその動物の説明をしたり、見てもらったりするのです。そうすれば、

(勉強になるなー。)

と思う人も出てくるのではないのでしょうか。いろいろな動物のことがいろいろ知れると思います。

こんな動物園を作ると楽しめていいなあ、と思います。親しくできて、勉強にもなるのでよいと思います。

● 大阪市教育委員会委員長賞

夢の動物園

大阪市立常盤小学校 6年6組

荒川 洋美

動物園にはたくさんの動物たちがいます。それにめずらしい動物もたくさんいます。だから私は動物園が大好きです。

私の夢なんだけれど、動物園にいる動物たちといっしょに遊ぶとかそういう感じのことができるようになればいいなあと思います。そしたら、動物たちをかわいがるし、あまり動物を好きではない子たちもきっと動物たちを好きになると思います。

私が一番かわいそうだなあと思うことがあります。それは、動物たちが病気などにかかって死んでしまうことです。生きているものは、いつかはぜつたいに死んでしまうけれど、できるだけ長く生きていられるといいなあと思います。今は、医学が進んでいるんだから、動物たちもたすかる数は多いと思います。けれど、全部がたすかるようになるまでには、時間がかかるなあと思います。

そして、私がぎ間に思うことがあります。例えば、フラミンゴが一本足で立つことです。あんな細い足で自分の体をささえていられるのはなぜかなあと思います。そういうふうに、動物のことにについてぎ間に思うことを答えてくれるという場所をつくればいいと思います。そうすれば、動物のことにしてもっともっと知れるようになると思います。

動物園は、とても広い所なので歩いて見ていたら

しんどくなるので、車みたいなのを作って、それで動物園を見て回るということもいいなあと思います。少し、スピードのこことやたくさんの人が来たときなどは車だけであぶないかもしれないけれど、工夫をすればなんとかできると思います。それだったら、広い動物園でもきつと、らくに見て回れると思います。

このようなことが全部ある動物園が私の夢の動物園です。今の動物園にも、これと同じような事が早くできるといいなあと思います。

● 大阪市天王寺動物園長賞

わたしならこんなどうぶつえんにしたい

大阪市立九条北小学校 2年1組

新井 理恵

わたしの、どうぶつえんは、どうぶつと、じゅうにあそべるようなたのしいどうぶつえんに、したいです。

どうぶつえんの、中にゆうえんちを作ります。

そして、いろいろなどうぶつとあそべるようにしたいです。

わたしは、おさるの、電車にのって、どうぶつえんの中を、一しゅうしたいです。

りすと、かんらんしゃにのって、空の空気を、たっぷりすたいです。

ぞうのはなの、上に乗ってみたいし、うまの、せなかにのりたいです。

そして、ぞうとアイスクリームを、ペロペロたべたいです。

ぞうの、アイスクリームのたべかたを見たいです。ぞうの、みずあびをしているところをみて、どうぶつたちと話を、してみたいです。

そこに、おんせんホテルが、あつておんせんに、はいつているときまどから、どうぶつが、みえるようにしたいです。

そして、どうぶつたちに、

「おやすみなさい。」

と声をかけて、みんなでおて、あさになって、あさごはんを食べて、またどうぶつたちとあそびたいです。

駆けまわりヨーロッパ動物園日記

§ プラハ動物園

5月27日にはチェコのプラハ動物園を訪ねました。入場料は5コルナ、50円位です。この動物園は絶滅しかけたモウコノウマを多数繁殖させ、世界の繁殖基地となったことで世界的に有名です。

ここは冬の寒さが特に厳しい所だそうで、ファンボルトペンギンやケーペンギンは冬の間、暖房舎に入れるそうです。日本で夏に極地ペンギンを冷房舎に入れるのと丁度反対ですが、このことから冬の厳しさが想像できます。

園全体が山の中腹に位置するため、園内を見学するだけで息があがってしまう程です。しかし、この斜面を利用して、山地性のヤギの繁殖に成果を上げていますし、ヒゲワシの繁殖も近く実現するだろうとのことでした。また、第2動物園の建設計画もあるそうです。



山腹を利用したハゲワシ舎

山腹を利用したハゲワシ舎

§ ションブルン動物園

翌28日はオーストリアの首都ウィーンにある世界最古の動物園を訪問しました。ここは1765年の創立です。元は神聖ローマ皇帝の宮殿の庭だったところ



アフリカハゲコウのペア

ですから、園内は草花に溢れる庭園風です。動物舎では、草食獣は柵飼いで、クマや小型ネコ類はビット式の為、近代的という感じはしませんが、小鳥舎などは一見小美術館風で、美しく装飾された建物になっていました。また室内にも花や緑が沢山植込まれ、実に住みごちよさそうで、見る方も心が安まる気

がしてきます。それに園内のレストランは以前、皇帝が迎賓館に使っていた建物で丸天井には極彩色の鳥や動物の絵が描かれ、大きなシャンデリアが飾られ、さらに周囲の壁には巧緻な装飾をこらした額で飾られた皇帝の絵などがかけられ、室内は美しく荘厳で気品に満ち私などは圧倒さ



美しいレストラン

れ食事が喉を通らぬ思いでした。

§ ミュンヘン動物園

前日のションブルン動物園が皇帝の庭園学に基づき美しくするならば、ここミュンヘン動物園は近代



アフリカ舎のドルカスガゼル(手前)とムホルダマガゼル(右)

庭園学の美しさでしょう。園内はよく手入れされた緑に溢れ、柵を使わずモートで仕切られた放飼場は見易く、広く、緑豊かです。動物を展示するという事はこういうことかと改めて知らされた思いがしました。

ここは動物地理学に基づき動物舎の構成がなされ、例えば南米舎の広い芝生の上にはオオアライクイ、ビクーナ、クロエリハクチョウ、カピバラ、レアと南米に生息する動物や鳥が放され、繁殖もすこぶる良好とのことでした。また広い通り抜けのフライトゲージは建築デザイン賞を受賞したオリンピックドームをモデルにして建てられた超近代的なデザインで、金網の描くカーブは近代建築学の美しさに溢れていました。

この動物園は家畜の展示にも力を入れており、戻

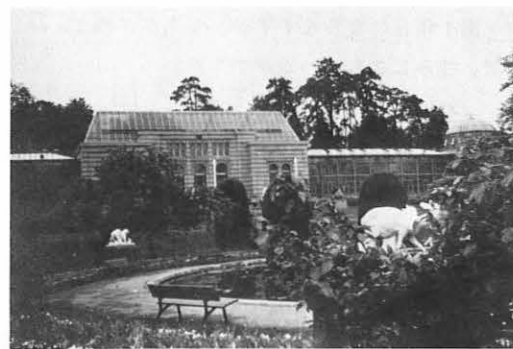
し交配で復原された古代の野生牛、オーロックスや野生馬、ターパンも群れていましたし、世界にもう100頭程しか残っていないフランスのポワトローバや地中海のコピトローバも見られました。



数少なくなったポワトローバ

§ ウィルヘルム動物園

シュトゥットガルトにあるこの動物園も元は国王の植物園だったそうで動物園が併設されたのは第2次大戦後のことだそうです。当時の王がアラビア風の建物を愛したとかで、園内に残る多くの温室や動物舎もアラビア風に仕立てられています。水族館も併設されており、サンゴ礁に住む魚のコレクションと展示は世界一の折紙付きです。温室の一面には展示に工夫が凝らされた夜行性動物舎がありました。



ウィルヘルムの園内風景

これは小さいものですが、ヨーロッパ初の夜行性動物舎でジャワマメジカや舎内を飛び廻る中型のフルーツバットが印象に残りました。

丁度ゴリラを麻酔し採血するところを見せてもらいました。子供が生まれたので2頭いるオスから血液を採り、血中に含まれる酵素でどちらが父親であるのか判定するのだそうです。ここのゴリラの繁殖はしごく順調で、既に18頭の子供が生まれているとか。またゴリラの他、オランウータン、チンパンジー、それにピグミーチンパンジーの4種の類人猿すべてが繁殖に成功しているそうです。

§ ヴッパターール動物園

ハース園長は試験中とかで獣医師のシューラー先

生に案内してもらい、まず非公開の小型ネコ舎へ。解散したマックスプランク研究所から譲り受けた稀少ネコ類の内、南アフリカに生息するクロアシネコを見せてもらいました。ペアごとに収容されたこの野生ネコの繁殖は順調に進み、現在25頭飼われているそうです。

園内を見学するうち、ハース園長に会うことができました。試験中というのは飼育係の認定試験の試験官を務めておられたのです。



クロアシネコ

飼育係になりたい人はまず仮採用として動物園に入り、週4日は動物園で仕事をし、残り1日は近くにある学校で動物学などを学びます。3年間こうやって実務と勉強を続けます。この間の収入は正規の飼育係の半分ですが、3年の後、試験に合格すると西ドイツ国内のどこの動物園でも飼育係として勤務できるのだそうです。試験は筆記試験と口頭試問の2



ジェフロイネコ

つで合格率は7,80%であるとか。丁度この時はシマウマの輸送用のオリの前で女の子がシマウマの輸送の際の注意点などを聞かれていました。女の子は気の毒な位コチコチで膝は震え、11年前の私自身の国家試験を思い出し、思わず苦笑してしまいました。

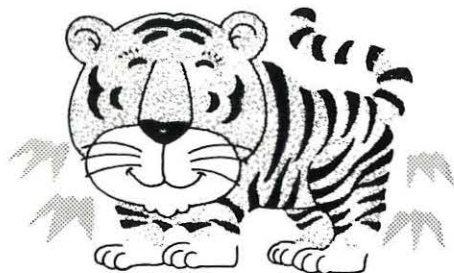
— つづく —

(長瀬 健二郎：飼育課・獣医師)

夢の座談会 “天王寺動物園は今”

- 司会 動物語の通訳 農本係員
- 今年話題を集めたトラの正ちゃん
- 最長老のゾウの春子さん
- 万博の星キーウィのニュージー君

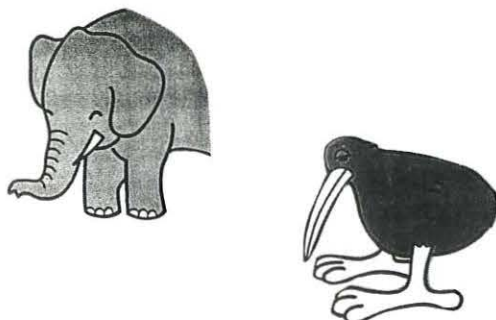
司会 えー今年が開園70周年という記念すべき年であり、今回は夢の座談会という事で、天王寺動物園の人気者達に集まってお話をしてもらいたいと思います。今年も様々な出来事がありました、とくに正ちゃんは大変だったでしょう。



正ちゃん ハイ、今年は例のタイガースファイバーで、とてもすばらしい年でした。毎年、秋風が吹く頃には人気なくなり、さみしい年の瀬を過していましたが、21年ぶりの優勝、さらに日本シリーズでの勝利で念願の日本一にまでなった訳で、これもすべてファンの皆さんの声援のおかげと、喜んでおりますハイ。そして又、今年はトラの毛をお守りにするからと、動物園に来られた人が多いとも聞きました、ハイ。

司会 それはすごいですね。来年はトラ年で今年以上にいそがしくなりそうですが、体に気をつけて、がんばってください。えー今年で天王寺動物園も70才になったわけですが、ゾウの春さんは現在、天王寺動物園一の最長老ということでご出席願ったのですが、動物園はずい分変わったことでしょうか。春子さん 私は昭和25年にここにきたのですが、すごく変りましたね。新しい動物舎もたくさんできましたし、園内の緑や花も増えて、とてもきれいにな

りました。でも一番変わったのは、動物園にくるお客さんですね、昔は娯楽も少なかったからかもしれませんが、物見遊山というか、珍獣奇獣を見物したり動物の演技を見たりするという人がほとんどでしたね。でも最近は動物に対する知識や理解を深めたいという人達が多くなってきました。いい傾向だと思います。



司会 そうですね。動物園も見世物的施設から、教育の場、研究の場そして自然保護の場としての施設へと変わってきましたね。未来に向かってますますそうした役目が重要になってくると思います。えー新しくなったといえば、夜行性動物舎もまもなくオープン満1年目になるんですが、キーウィのニュージー君、住みごこちはいかがですか。

ニュージー君 15年前の万博の時に天王寺動物園に来た時は、度々の引越でなかなか落ちつかなかったのだけど、今度の新居に入れた時はほっとしたねえ。でも今度の新居はさわがしいのが困るねえ。広さも十分で、エアコンも完備して最高級の施設なのだけど、どうもガラスをたたいたり、大声を出して我々夜行性動物舎の住人を驚かせる不心得者が多くてねえ。ボクも一時はノイローゼというやつになりかけたくらいだけど、担当の人がガラスの前にビニールを張ってくれたり、あれやこれやと配慮してくれて、少しはましになってきたのだけど。

司会 そうですか、それは大変な事でしたね。入園者のマナーがいまだによくならないのは残念ですね。もっと動物達にやさしい心を持って接して欲しいと思いますが。えーまだまだお話を伺いたいのですが、時間がきてしまいました。えー来年も皆さん元気で、良い子ののためにがんばってください。

(飼育課：農本 武志)

1985年目次 第21巻

通刊233～244号

表紙		写真撮影	
コビトコブウシ (1月号)	森本 委利	キーウィ (7月号)	大川 光雄
ムササビ (2月号)	榊原 安昭	サイチョウ (8月号)	森本 委利
キタオボッサム (3月号)	長瀬 健二郎	ローランドゴリラ (9月号)	大野 尊信
空から見た天王寺動物園 (4月号)	大阪市消防局	ワライカワセミ (10月号)	中川 哲男
アジアゾウ (5月号)	榊原 安昭	フクロギツネ (11月号)	大川 光雄
ショウジョウトキ (6月号)	農本 武志	ブケコ (12月号)	長瀬 健二郎
動物と私 P2 (天王寺動物園と私)			
吉田平七郎 (おもちゃの動物園長) (2月号)	寺内 信三 (元天王寺動物園長) (3月号)	筒井 嘉隆 (元天王寺動物園長) (7月号)	辻本 修 (ひかりのくに広報室長) (8月号)
古賀 忠道 (元上野動物園長) (4月号)	石川多賀夫 (元大阪市助役) (5月号)	岡村卯三郎 (元天王寺動物園飼育係員) (9月号)	香川 勇 (元福岡市動物園長) (10月号)
北王 英一 (元東山動物園長) (6月号)		山田 致知 (金沢大学教授) (11月号)	赤田 光治 (70年来の動物園ファン) (12月号)
お目見え動物 P3 (11月号のみP10)		写真撮影	
おー寒む (1月号)	樽本 勲	コブハクチョウのヒナ誕生 (7月号)	薮野 幸司
夜の国からコンニチハ (2月号)	宮下 実	新入りのリッキーです (8月号)	堀 弘
タイリクモモンガ (3月号)	野口 秀高	わたしフランソワルトンよ (9月号)	長瀬 健二郎
お袋さんからひとりだち (5月号)	農本 武志	ヤブツカツクリの誕生 (10月号)	早川 篤
セイランのヒナ誕生 (6月号)	榊原 安昭	今度も女の子 (11月号)	農本 武志
		夜行性動物舎のニューフェイス (12月号)	森本 委利
動物園グラフ P4・5 (4月号：10～13P)		写真撮影	
牛のおもちゃ展 (1月号)	吉田平七郎	キーウィ拝見 (7月号)	大川 光雄
ウシ科の動物たち (2月号)	森本 委利	今年生まれの動物 (8月号)	榊原 安昭
動物の夏服、冬服 (3月号)	榊原 安昭	サマースクール特集 (9月号)	森本 委利
新聞と写真でつづる70年のあゆみ (4月号)	長瀬 健二郎	このお尻はダーレ? (10月号)	堀 弘
春子、ユリ子来園35年 (5月号)	編集部	リッキーはわんぱくざかり (11月号)	大野 尊信
アカカンガルーの行動 (6月号)	農本 武志	鼻 詞 (12月号)	中川 哲男



ゆとり満喫、信頼のカード。

ショッピングから海外旅行まで、
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

近鉄グループカード
(キップス) **KIPS**

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの
ご利用にはいろいろな特典が。

近鉄百貨店

お問合せとお申込みは 各店クレジットセンターへ

●アベノ店7階●上本町店10階●東大阪店本館●奈良店4階●西京都店1階
(京都ファミリー)

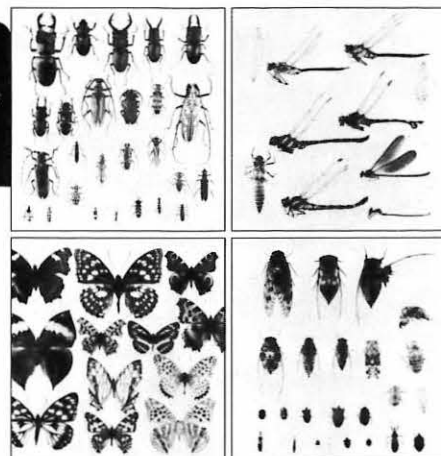


●オールカラー
むし
くらしとかいかた

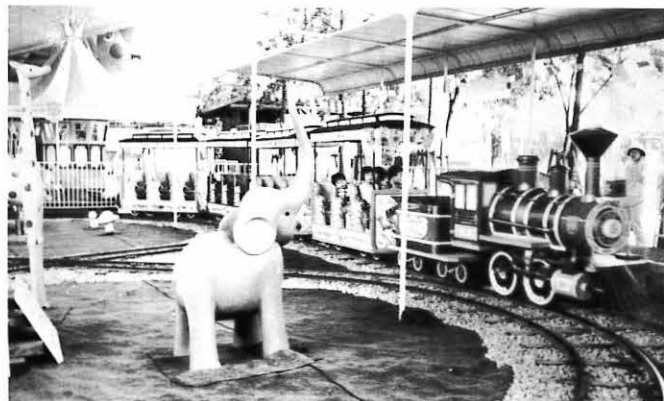
今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きっとすばらしいことに出会えるはずだ。

85変形
84ページ 580円

ひかりのくに株式会社
〒543-8601 大阪市天王寺区上本町3-2



たのしいのりもの、が待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

世界初の最高感度
(カラープリント用フィルム)
1600 新登場!

かたらの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031



フジカラー HR 1600

ISO1600/33° 135-24枚撮



- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキでお申し込み下さい。

動物観察の手引に

天王寺動物園
ガイドブック

のご購読をおすすめします。
(1冊¥450)園内各売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶白山町6-74 ☎(06)771-0201

動物文学会主宰 平岩米吉著

新刊

猫の歴史と奇話

(定価・2600円)
A5判・260頁
口絵挿画・113図

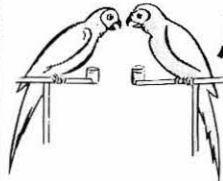
猫に関する古今東西の科学と文献を網羅し、しかも平易な文章で綴った猫の宝典。著者の三十余年にわたる収集研鑽の成果、ここに結実。

☆学術書でありながら、推理もののように愉しく読める猫の本
☆架空の伝説は別に、猫の珍しい実話400余を収載

主な目次

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 第一章 猫の歴史
欧州は古代エジプト、日本は宇多天皇から近世まで | 第二章 猫股伝説
老猫化けてさまざまな怪異をなす |
| 第三章 猫の報恩談
蛇を咬んだり、金を運んだりする | 第四章 野性猫の存在
裏日本の山猫、離島の山猫、鬱陵島の猫の渡来など |
| 第五章 猫の奇話(上)
長命、多産、三毛猫などの形態の奇話 | 第六章 猫の奇話(中)
長距離の帰家記録や鼠を育てるなど不思議な行動 |
| 第七章 猫の奇話(下)
マタタビを媚薬とする奇妙な習性など | 第八章 益獣としての猫
あらゆる角度から猫の生態と効用を探究 |

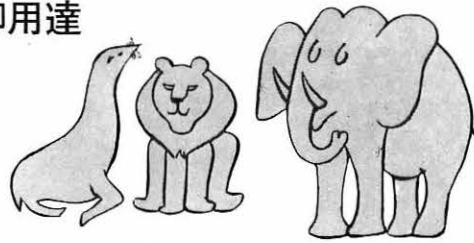
発行 動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659・振替東京5-9800
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地 振替・東京4-165425



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

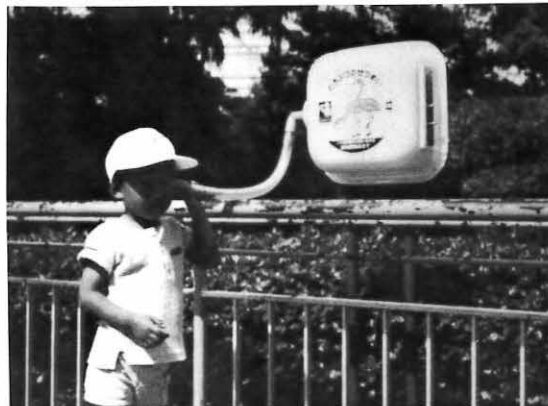
- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

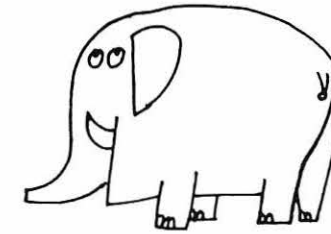
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内



南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶白山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内での写真は…
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますので説明
に伺いました際は、
よろしくお願ひ致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト
の名コンビ

自然の
おいしさ



雪印ヨーグル

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

ペットを飼っている人にも飼えない人にもこの1冊

ペット大図鑑

あらゆるペットの飼い方、殖やし方、
治療法がひと目でわかります。

1部/犬・猫など 2部/リス・アライグマなどの小動物
3部/金魚・熱帯魚・海辺の生きもの 4部/洋鳥・和鳥・鳩など
5部/は虫類や昆虫など、めずらしい生きもの 巻末/ペットの便利情報ガイド

総監修/中川道朗 (大阪市天王寺動物園協会専務理事)

監修/浦東信夫/榊原安昭/内田 至
石原重厚 編修協力/宮武頼夫

特別
価格 **2,950円**
(定価3,300円) ※送料無料

同封の専用紙または郵便局の振替用紙にて
お申込みください。振替口座/大阪5-98163

(株)グリーンアド・コミュニティ
〒550 大阪市西区西本町3-1-46 TEL. (06) 531-0415

好評発売中



サイズ **AB判** (25.7×21cm)
カラー **160**ページ・全 **400**ページ

なきごえ 昭和60年12月10日発行 (毎月1回10日発行) 第21巻 第12号 (通巻244号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

(土井良彦/伊東重朗/小出雅三/樽本 勲/中川哲男/前田豊彦/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭/森本委利)
(大野尊信/山下奉之/農本武志/野口秀高/早川 篤/藪野幸司/堀 弘/大川光雄)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823